



会員総会にて

会長 S11 連川 悠一



本日は、生憎の天候で足元の悪い中を九州学院同窓会関東支部 東京九学会の総会* の為に新卒の若い方々を含めた多数の会員の皆様のご参集を戴き、亦 遠く熊本からは、本校の内村院長をはじめ、井場先生、池永事務長、同窓会本部からは、前院長であり、現在 百周年記念事業委員会の委員長をされている土山先生と小崎参与のご列席を賜り、会員皆様を代表しまして厚くお礼申し上げます。「真に 有難うございました。」

さて、私が昨年6月に会長を引き受けましてから今年にかけて、様々な出来事がございました。なかでも、この会にとりましての一番の出来事は、先程も黙祷を捧げましたが内空闲幹事長の急逝でした。

会務を一手に引き受けていた彼の突然の逝去は影響が計り知れなく、その為に会員の一部の方々にも連絡の不都合が生じ、多大な ご迷惑をおかけ致しました事、深くお詫び申し上げます。

今後 このような事がないよう（これは、役所の弁に似ておりますが……）後程 来たる21年度の活動計画の中で、詳しくお話し致しますが、一人の者に負担がかからぬ様に、会員夫々の役割分担を明確化したいと考えております。一方、母校に目を向けますと、今年は、私たちS11回生が高卒後半世

紀 即ち、50周年で、3月2日の卒業式に列席の榮譽を受け、感動に浸って来ました。充実した施設や、懐かしいチャペルを見学させて戴き、同級生一同と記念撮影をして来ました。これらを更に発展させる為に、二年後に迎える百周年に向かっての事業計画も動きだしました。この事は後程、土山先生から詳しくご説明があると思いますので、私からは、会員の皆様には深いご理解とご協力をお願いするに留めます。いずれに致しましても、母校の発展は、我々卒業生にとっては、実に喜ばしいものです。更なる発展を祈念して止みません。

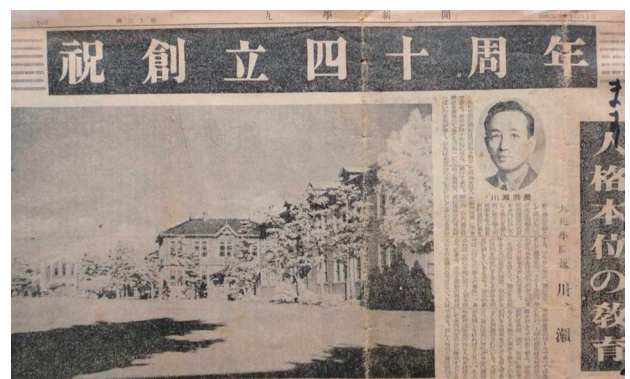
最後になりますが、昨年の会長就任挨拶の時も申し上げましたが、同窓会という「仲良しクラブ」で和気藹々の付き合いが出来る様、会員の皆様のご協力を賜ります様 お願い致しまして、私のご挨拶とさせていただきます。

本日は、ご参集ありがとうございました。

*6月6日 於アイビーホール青学会館

九学新聞創立40周年記念号を読む

東九通信編集部



本通信は、内村院長にお願いして、前号に、「創立100周年に向けて」のご執筆を得、現在の九州学院のこと、将来に向けての学院の運営、教育方針について述べて頂きました。本号では、九学新聞創立40周年記念号を読んで、当時を偲んで見

ように思います。この記念号の日付は1951年(昭和26年)10月1日で、本号発行日の丁度58年前です。時に、終戦から6年、六・三制新憲法施行から4年、サンフランシスコ講和条約調印から2か月後、そして朝鮮戦争の真っ最中でした。

1面トップは川瀬清院長の“九州学院の開校は明治四十四年である。本年が四十年目に当たる”で始まる「人格本位の教育」不惑の年を迎えて。ここで、川瀬先生は、創立者ブラウウン先生、初代院長遠山先生、二代院長稲富先生ら、先達の先生方の努力と献身を称え、謝意を述べられたあと、“不惑の年を迎えて、過去を追懐すると共に建学の理想、学院存在の目的を明らかにすることが最も時宜に適していると思う。学院の教育は「役に立つ善人の養成」、或いは「良心を持つ人物を作る」にある。中学と高校の課程は大学への準備のみではない。入試突破が最後のゴールであってはならない。人間の価値は名利の彼方棺をおおうて初めて解る。学院の校訓は家庭、国家、社会に奉仕することを終世の義務と教えている。(中略)「偉人となるよりは善人となれ」と学院は教える。(中略)学院の「善人教育」は帰するところ「神の愛を知る人を作る教育に他ならない。神の愛を知り、神の愛に動かされる人にして初めて人を愛し社会に奉仕せんとする自意識と熱情と実行力を持つことが出来るのである。(中略)時あたかも、待望の講和の年に四十周年を迎えたことは学院にとって偶然ではあり得ない。日本が確保した政治的、経済的、精神的独立とともに、内に民主化の実を挙げ、外に広く世界平和と人類の福祉とその進展のために用いられねばならない”と説かれて、“四十周年は過去を感謝し、現在を思い、将来この発展を祈りつつ誠実

を以てその基礎を作る時である”と結ばれています。

1面 論説“敬天愛人の道を歩め”

九州学院が教え、実践して来た「敬天愛人」、四十年の伝統について述べ、“集まり散じて人は変わるも、常に変わらざるキリストの訓に従って敬天愛人の道は無限に展開されてゆく”ことを信じる。過去のように、宗教が政治に利用されてはならない。“日本の新しい門出に際し、人々は確固たる心の支柱を持たねばならず、ここに宗教の力が顕現されねばならぬ使命がある”と論じています。この他、1面には、PTA会長 渡辺幸義氏の創立四十周年を迎えて役に立つ善人を、多彩な四十周年祭記念誌同窓会名簿も発行、遠山週間行事 宗教行事も計画 等があり、大阪北野高校の出来事として、赤い生徒校規を無視 全国初の退学処分 という記事が時代を感じさせます。



第2面に時事解説教師 青木寛先生の朝鮮動乱と日本 休戦交渉成立か・決裂か 新段階に於ける米ソ外交 があります。ここで先生は“サンフランシスコの講和会議の席上で、ソ連グルムイコ代表が「九月八日を期して日本は侵略者連合」の一員となった」と断じた”ことを挙げ、“朝鮮戦争の帰趨こそが(日本の運命に)大きく影響することを思い、朝鮮戦争の停戦交渉に就いて若干の考察を試みたい”とされています。

次に 新聞部世論調査 学力が低下か六、二制

東京九学会

会 長 連 川 悠 一
(S11回卒)

東京九学会生物クラブ

水族館、動物園、植物園、自然博物館
山、川、海における生物の進化の観察

上野 輝彌 (S1回卒)

uyenott@jcom.home.ne.jp

六、三制は負擔が重い があり、校内生徒その他に対する義務教育制度に関する世論調査の結果が発表されています。(六、三制がよい:64%でした。)

この面には、この他、青木先生の在京校友の消息 僕の東京訪問記、S1年生徒の投稿「新たなる信念を把握せよ」があります。

第3面には九州学院沿革史 第一期生百二十名開校よりはや四十年。「明治四十四年三月一八日、遠山参良先生学院長の職に就き四月十五日開校す。」とあります。その他、新校舎やがて落成／十月には完成総工費五百二十万圓 中学部各教室に使用／籠球部優勝す 於市民體育祭／演劇コンクール 優勝か本校演劇部／田代縣代表となる國体熊本縣予選にて／全國で四位 平泳の菊池／各種目に入賞 市民體育水上大会／元松君(西日本声楽コンクール熊本県予選で優勝)有田英子嬢と共に／文学書が一番開架式の図書館 他校訪問 第一高校 大場先生御轉任 明るかった九州学院 があります。

第4面 新聞部回顧座談会 歴代新聞部長／学校より竹熊先生、青木先生／新聞部 前田、高毛礼、平野。文芸欄 読后感想“少年期”を読み S1生徒。小説は 岩城元博著「こころ」挿絵は 高浜虎喜先生でした。

これら58年前の記事を読んで感じることは、何れの文章も、難しく、当時の九学の生徒は“よくこれが読めたな”ということ。



(中学校、高等学校生徒会広告)

東京九学会のますますの発展をお祈りします

九州学院同窓会 事務局

小崎 義昭

九州学院をめぐる思いで

S1 上野 輝彌 (Ph.D.in Zoology 動物学博士)
国立科学博物館名誉研究員

私は1930年(昭和5年)に別府湾に面する日出城の三の丸で生まれました。東京の愛日小学校、大分県の日出小学校、鎌倉第一小学校、逗子開成中学、兵庫県立小野中学を経てルーテル教会設立の九州学院3年生に転入したのは1945年(昭和20年)4月、第二次世界大戦が8月15日に終わった年でした。九州学院では稲富肇院長はじめ後に院長になられた川瀬清、池永春生先生が敗戦後の教育変革に苦勞しておられた時期でした。学校制度が変わり旧制の九州学院中学校は新制中学校3年、新制高等学校3年になりました。私達は翌年に新制高校1年になり、3年間最上級生で、熊本大学でも4年間も最上級生という珍しい学校生活を送りました。

その昔、熊本は軍都といわれ陸軍の第六師団、幼年学校などが在ったため米軍に徹底的に爆撃されて焼け野原になりました。そのような中に、戦前に米国からの宣教師であった、Rev.L.S.G.Miller 先生が民間人の最初の船で日本にこられ、御自宅でバイブルクラスを開かれました。私も参加したのですが、ミラー先生は進化論反対で“あなたたちの先祖がモンキーだと信じますか?”と大声で叫ばれたのを覚えています。

若い先生たちは兵隊から帰還していなかったもので、生物は旧制第五高等学校の高橋仁助博士が教えに来ておられました。この先生の授業 大変刺激的で面白く、動物学を勉強したいと思いました。高橋先生は著名な魚類学者でしたし、私は別府湾や鎌倉の由比が浜で魚を友として成長しま

ばか面 笑福おどり・川口笑福会
健康な笑いを提供する宴会芸教室



講師 成田家笑仙 こと 森田 茂 (S4回卒)

〒332-0017 川口市栄町2-1-18-801

Tel: 048-250-6021 Fax: 048-256-2878

したので、大学時代も先生の研究室に“月月火水木金金”(土、日も休まず)通いました。日曜の午前中は九学での大江教会(内海季秋牧師)の礼拝に出席し、それから高橋先生の研究室で研究の手伝いをしました。高橋先生は岩手県出身でクラーク教授、内村鑑三、新渡戸稲造などで有名な札幌農学校の最後の卒業生で、東京大学農学部の石川千代松教授の助手となり、五高の教授になりました。(石川千代松教授は日本に初めて進化論を紹介した学者で、東京の恩賜上野動物園の初代園長だった方です。)

高橋教授が教える進化論とキリスト教の天地創造論は明らかに違い、どう考えるべきか迷いつつ青春時代を過ごしました。また九州学院のチャップレンであり大江教会の牧師で宗教改革者マルチン・ルターの研究者であった内海季秋先生には佐藤繁彦博士の著書「ルターの根本思想」を熱心に解説して頂きました。

その後、合計10年間、米国ミシガン大学に留学し、学位取得後は助手、研究員となりました。専門は動物学で、魚類の系統進化学、比較解剖学、細胞遺伝学、生物地理学、古生物学などの分野において、特に骨格系や染色体、DNA、化石などを研究しました。

ハーバード大学のG.G シンプソンという進化論の大家が書いた教科書に「人間は三つの感受性を持っている：宗教的感受性、芸術的感受性、もう一つは知的好奇心と考えられるが、人間にはこれらを統合する知恵がない、無理に統合しようとすると短絡し、無意味になってしまう」とありました。

「類人猿が宗教を持つ証拠は発見されていない。太陽を拝んだり、石で祭壇を作ったり、客観

的に見てナンセンスな行為をしていることが発見されれば、サルに宗教がある証拠といえるのではないか」と文化人類学者から聞いたことがあります。それに対し、世界に宗教をもたない民族は存在しないと行ってよいというのです。

人類は知的好奇心をもとに光、電子、素粒子、遺伝子、細胞、個体発生、系統発生、社会とその進化、地球、太陽、星雲、宇宙への理解を進めてきました。観察し、考察し、実験し、証拠を蓄積して膨大な知識体系を創造してきました。

それに対して、人間は「人間を人間たらしめている信仰や宗教の世界」といかに取り組むべきなのでしょう。人間の心理とその発達、精神と病理、脳と神経の発生など人間の理解は量的にも質的にもきわめて限られています。

帰国後、一般教養プログラムの教授として日本ルーテル神学大学の創立にかかわり、東海大学海洋学部で海洋生物学や魚類学の講義と実験、卒論の指導を担当しましたが、九州学院時代の学びと経験がその基礎となったことには間違いありません。

(元国立科学博物館研究部長、元日本魚類学会会長一名誉会長、アメリカ魚類・両生は虫類学会外国名誉会員、元江ノ島水族館名誉館長)

海人丸EXPEDITION サバニ帆漕

S14 荒木 傑

私は、昭和37年に九州学院を卒業し青山学院卒業後、S41年に当時の日動火災海上(株)本社に入社し神戸、岡山、熊本、都城、宮崎、岐阜、山梨、横浜、東京と2~3年で転勤し、38年間勤務後5年前60歳にて退職致しました。退社後は、1999年日本で初めてハワイから「アウトリガーカヌー

東京九学会

常任幹事 **谷山 準二**
(大江小学校卒)

〒141-0031 品川区西五反田7-23-802
TEL/FAX 03-3492-5733
E-mail taniyama802@mthbiglobe.ne.jp



株式会社 **クリーンテック**
飯坂クリーンサイト

代表取締役 **反後 堯雄 (S6回卒)**



本 社 福島市飯坂町中野字赤落27番
〒960-0261 TEL 024(541)2811
FAX 024(541)2510
東京事務所 東京都新宿区新宿2丁目3番13号
〒180-0022 TEL 03(3350)0750
FAX 03(3341)0810
URL: <http://www.clean.ne.jp>



(週刊朝日掲載)

OC6を導入し、発足しましたNPO法人「アウトリガーカヌークラブ ジャパン」が活動している「海人丸EXPEDITION サバニ帆漕航海」後援会会長として全国の各地にてボランティア活動を展開しております。又、月に1~2回神奈川の葉山御用邸東の大浜

海岸にて「アウトリガーカヌーOC1」をパドリングすることにより「自然と人間の共生」を五感で感じながら体力の衰えを復活させオーシャンスポーツを楽しんでおります。「海人丸EXPEDITION サバニ帆漕航海」とは、14世紀ごろより琉球王国時代から使われていた約50年前の漁船を、双胴船に改造し、現代機器のGPS、コンパス、エンジン等を使用せず、スターナビゲーション(太陽、月、星、風、波、鳥の飛ぶ方向を見て航海する古代航海術)航海術に挑戦する事です。人の暮らしの中で、ゆとりの時間はどれだけあるのでしょうか?

仕事と家庭の往復の日々でいつの間にか何も考えない時間が無くなってしまいました。朝晩の散歩や仕事の合間の昼寝の場所として、人が「海」の波長を感じながら生活出来る環境作りが必要だと思います。この「海人丸EXPEDITION サバニ帆漕航海」2004年は、「沖縄~日南」約1000キロを1ヶ月間、2005年は「沖縄~日南~愛知」約2000キロを約2ヶ月間の大航海を実行し船長荒木汰久治(私の息子です)始めクルー全員(20名)が大した病気や大怪我をせずに無事成功いたしました。是非 <http://www.occj.org/>

<http://www.akakitakuji.com/> をご覧になって下さい。今後の「海人丸EXPEDITION サバニ帆漕航海」の計画は、今年6月サバニの原木である日南の飢肥杉(樹齢80年~100年)を地域の方が、我々の航海の主旨をご理解され寄付して頂き、これから沖縄の糸満にて、船大工さんと沖縄の中学、高校、大学の生徒さん達が中心になり長さ約10メートルの現代で最大のサバニ木造船「海人丸」2号を2年後に完成させ、又、子供達のクルートレーニングを続けた結果、約5年後に「沖縄」~「中国」までの航海を計画致しました。
<http://blog.livedoor.jp/uminchumaru/> を是非ご覧下さい。最後に「海」と共に生きた我々の祖先である偉大なる古人の「体力」「知力」等の能力を復活させ、次世代の子供達に継承することが我々の使命とっております。

今後、是非ともご支援とご協力の程お願いいたします。

私のプロフィール

マット バーゼンス
(インマヌエル・カレッジ 交換留学生)



2004年1月から2005年1月まで、オーストラリアにある九州学院の姉妹校インマヌエル・カレッジから来た交換留学生だったバーゼンス・マットです。留学当時は判りませんでしたが、九州学院への留学が私とアジアの深い関係のきっかけとなりました。留学が終わった後、東京の国際基督教大学(ICU)に入学し、3年目は更に中国の北京大学



旭光 有限会社

代表取締役 緒方 榮喜 (S8回卒)

〒273-0041 千葉県船橋市旭町3-14-1
TEL (047) 439-5669 FAX (047) 439-5686
E-mail: kyokuko-86f-ogt@hkg.odn.ne.jp

くまもと出身 を誇りに頑張っております。

寿司・季節料理 あづま TEL 03-3213-2728
くまもと料理

カフェ 彩 (SAI) TEL 03-3213-2001

理容 ニュー東京 TEL 03-3215-2538

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-1(新国際ビルB1)
吉村 勉 (S9回卒)

店主 小山 純子(玉名市天水町出身)

に留学しました。中国と日本だけではなく、2007年の夏休みにタイのチェンマイ市で「サービスマーケティング」という大学を通じたボランティア活動を行い、その時から専攻の言語学科をアジア研究に変更しました。今年の6月にICUを卒業し、10月から東京にある日本ハムグループの「ジャパン・フード」という会社で「ハムの人」になります。オーストラリアの「オージービーフ」や中国の鶏肉を主として、日本語、英語、中国語を使いながら貿易したいと思います。すでに、二人の中国人社員もいますが、私が初白人正社員となります。九学の弓道部で学んだ上下関係や敬語は今のビジネス社会に出合う自分にとっては非常に貴重な知識です。いわゆる「普通」の外国人と違って、様々な特別な事を体験してきたので、日本で、英語の先生になるのは、今まで得た知識を無駄にする気がします。「普通ではない」からこそ、これからは大変でしょうが、東京で頑張っ、疲れた時は「故郷」となった日本の熊本にはいつでも帰ることが出来ます。社会人になるまで、思いっきり遊びたいと思います！

現在、バリ島にいるバーゼンス・マットでした。

私の茶道

S56 堀川 茜

こんにちは。S56回卒業堀川茜と申します。

この度、東九通信に載せて頂くことになり大変恐縮ですが、みなさん読んで頂けたら幸いです。前回号では本郷先輩が茶道について書かれていましたが、実は私も小学5年生から茶道をしています。現在も継続してお稽古に通っています。本郷先輩のように知識が豊富ではありませんが、



(2008年秋 KG会にて)

私が今でも続けてこれた過程を書かせて頂きたいと思います。私が茶道を始めたのは小学校5年生の時でした。知り合いに誘われてはじめてのですが、小学生の私はお稽古よりもお茶菓子を食べることが楽しみで通っていました。そして、その時はまだ友達や周りの人に茶道のお稽古に通っているということを言えませんでした。理由はただ恥ずかしかったからです。

それでも、自分自信はお稽古がだんだん楽しくなっていました。私を誘った知り合いはお茶を辞めてしまい、私はおばあちゃん先生と毎週二人でお稽古を続けました。

本当はお茶をたてる亭主とお茶を召し上がるお客様が3~4人いて初めてお稽古ができるのですが、私は先生とマンツーマンでお稽古してきたことが多かったのも、じっくりと教えてもらいました。

それから月日が経ち、中学生の時に一度だけ浴衣を着てお茶会にでたことがその先生との最後の思い出になりました。そして高校1年の夏、先生は亡くなりました。

先生が亡くなられてから一年程空白があったのですが、まだ続けたいと思っていたところに



建設業許可 神奈川県知事許可(般16)第50909号

株式会社 **タイセイビルド**

代表取締役 **齊藤 征一郎 (S12回卒)**

～ 神奈川支部長 ～

土木・建築・リフォーム・店舗・設計施工・建物総合保守管理
冷暖房・冷蔵庫・厨房設備・設計施工・メンテナンス

〒233-0016 横浜市港南区下永谷5丁目71番12号
電話 **045-823-8644**(代) FAX 045-826-2197

日世貿易株式会社

〒150-0002 渋谷区渋谷1-8-3 渋谷安田ビル2階
電話 03-3400-3310/FAX 03-3486-1278

平井 洋一郎 (S13回卒)

次の先生と出会い、再開することができました。

その先生も茶道を本当に愛してらした方で、御弟子さんたちもとても良い方たちばかりでした。

お稽古をしているときのお茶室は静かな所なのですが、人が4、5人も集まると皆、世間話や家族の話で盛り上がり今何をしていたのか分からなくなります。それがまた楽しいところでした。先生までその中に入ってしまうと、お稽古中断は言うまでもありません。茶道のお稽古は厳しく且つおしとやかなイメージがあるかもせれませんが、実際はお茶とお菓子をいただきながら人とのコミュニケーションを楽しむ素晴らしい日本の伝統だと思います。

高校を卒業して東京に進学したため、熊本でのお稽古は夏休みなど長期休みの帰省時にしかできなかったのですが、短大で茶道部に入り、そこでも新しい先生方に出会いました。

現在はその中の一人の先生が熊谷にお茶室を持っておられ、月に1回ですが通ってお稽古をしています。

残念なことに、8月の終わりに熊本の先生が亡くなってしまいました。孫のように可愛がって下さっていたのでとてもショックが大きかったです。二人の先生方には本当に感謝しています。先生方に継いで、私も将来茶道の先生になると心に決めました。

茶道では季節によって茶道具やお花などを変わりがわり使用します。知識も身につけていかなければなりません。それにはお金もかかるし、時間も必要です。

少しずつですが、先生に近づけるよう頑張っていきたいと思います。

茶道の楽しみとは?と聞かれると一概には言え

ませんが、お茶とお菓子をお客様にもてなすというところで人を和ませ心を安めるのに打って付けの日本の伝統だと思っています。

興味をお持ちの方はぜひ趣味の一つとして始めてみるのをお勧めします。

新しい駅誕生

S30 高木 宏一

皆さんお元気のことでしょう。

私は、ここ埼玉に住み20年以上になります。2001年(平成13年)4月1日大宮市よりさいたま市に市名変更され2003年(平成15年)4月1日から政令指定都市になり、3市合併 浦和市・大宮市・与野市の旧3市が合併し発足し100万人都市になったのは皆様もご存知でしょう。これから説明しますのは、江戸を「指」す「扇」の形をした地形であることが村名の由来という説がある場所で、関東平野の中にあり風の通りや日当たりがいい場所がある丘程度のものか森がある指扇地域についての事です。大部分は大宮台地の上で、春になると荒川の土手一面に咲く菜の花やツーリングコース沿いに桜が開花し、西部が荒川沿いの低地だったが、村自体は荒川に接していなく東の境には鴨川が流れた農村地帯で、水田が多くを占めていました。さすがにさいたま市内ほどの高い建物はないために冬には、遠くの方まで見渡せ雪で覆われた富士山が見渡せ写真を撮影しに来ています。

さて、今回新駅設置の経緯について書きます。

指扇村は大宮町(後に大宮市)と川越町(後に川越市)の中間にあり、1902年(明治35年)に両町を結ぶ川越馬車鉄道が敷かれました。路面電車になって1906年(明治39年)から川越電気鉄

翻 訳

竹熊 誠 (S15回卒)

TAKEKUMA, Makoto

〒261-0013 千葉市美浜区打瀬3-1-3 C-711

TEL・FAX (043) 299-7503

E-mail: mtakekuma@ss.em-net.ne.jp

RICOH

代表取締役

橋本 一彦 (S18回卒)

リコーソリューションズ東京株式会社

〒160-0004 東京都新宿区四谷4-34-1 新宿御苑前アネックス7階

TEL 03-3359-2347 / FAX 03-3359-6199

Kazuhiko_Hashimoto@r-st.r-hanbai.ricoh.co.jp

http://www.r-st.ricoh.co.jp

道、1922年に経営が変わり西武大宮線になり、指扇村には五味貝戸駅が置かれました。1940年(昭和15年)に大宮・川越間の別路線として川越線が敷かれると、大宮線は廃止になり、川越線の駅として村には指扇駅が置かれます。地元住民が昭和40年代から旧大宮市に要望を出していましたが、爾後40年以上を経、当初計画より2年遅れて日進駅と指扇駅の間に西大宮駅が埼京川越線に2009年3月14日土曜日に営業開始しました。

大宮駅から川越駅行きに乗ると、時間にすると3分くらい余計にかかるようになりましたが我が九州学院と同じスポーツ進学校の栄高校が、新駅から5分くらいで行けるようになり、生徒は今までは指扇駅から30分近く徒歩でしたが6分の1位で通学するようになって喜んでいるようです。



平成21年3月14日に誕生した新しい駅は、写真でもわかりますように、両面開閉のELV付きのバリアフリー構造で、最新の設備を備えた駅です。

駅から車で5分の所に露天風呂がある自慢の生源泉湯は、地下約1500mから湧出した38.3度の源泉を掛け流しで利用している清河寺温泉がありますので近くに起こしのおりにはお立ち寄り下さい。



報告とお知らせ

東京九学会納涼会：7月28日(火)PM 6:00～
季節料理「あづま」にて 参加者15人
吉本選手激励会：8月10日(月)PM 6:30～
季節料理「あづま」にて 参加者23人
秋のKG会：10月24日(土)PM 5:30分受付
東京グランドホテルにて予定

編集後記

「九学新聞創立40周年記念号を読む」のなかで、該紙見出しの通り、第一期生百二十名…と書きましたが、校閲を頂いた九学同窓会本部から、学校の記録では第一期生は122名と伺いました。そこで本文をよく見ると、沿革史として「明治四十四年(中略)第一回の入学試験を行い、百二十二人に入学を許可し…」とありました。因みに第一期の卒業生は42名だったことも本部から教えて頂きました。

次号の発行予定日は2010年4月1日です。記事及び広告のご掲載方よろしくお願い致します。

(編集担当 S6 尾上 賢 S15 竹熊 誠 S30 高木 宏一)

弁護士

伊藤 秀一 (S20回卒)

〒231-0011 横浜市中区太田町3-36-603
伊藤秀一法律事務所
TEL 045-201-2371 / FAX 045-201-9856
E-mail: shuito06@ybb.ne.jp

総合業務用食品卸業

日東食販株式会社

営業部部长 町野 信一 (S22回卒)

〒124-0013 東京都葛飾区東立石2丁目5番2号
電話: 03(6303)1961 番
FAX: 03(3693)3520 番